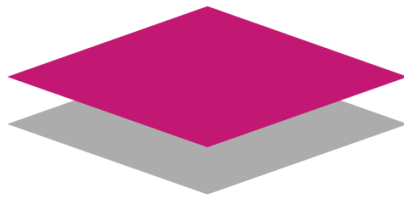


会社説明資料

国・地方公共団体向け



Give and Support

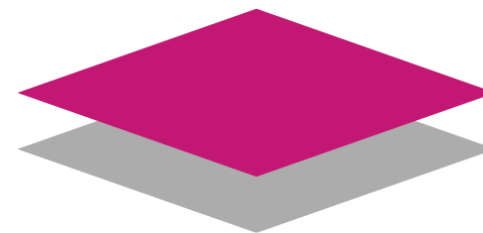
ギブアンドサポート合同会社

**特定の分野だけでなく、幅広く情報システム・DX推進に関する専門人材の支援が欲しい！
ただし理想だけ掲げられても困るので、現実路線で行政のことをよくわかっている人材がいい！
さらに助言だけでなく、しっかり現場と一緒に汗をかいてくれる人材がいい！**



職員様

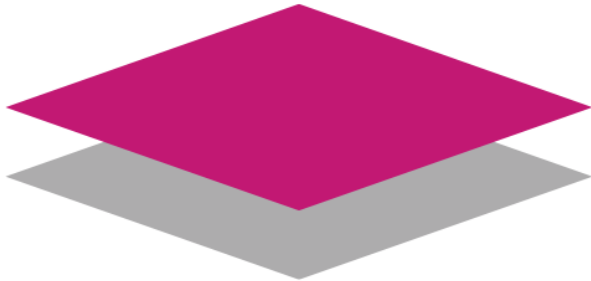
というニーズをかなえる会社です



Give and Support

会社概要

法人名	ギブアンドサポート合同会社 (Give and Support GK)
設立	令和7年4月1日
事業内容	地方公共団体向けの助言・伴走支援 ・ DX推進全般に関すること ・ 情報システム全般に関すること ・ 業務廃止・見直しに関すること ・ 組織変革に関すること ・ その他行政課題解決全般
代表者	吉田 夏樹
拠点	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3大阪駅前第3ビル 29階 1-1-1号室
ホームページ	https://giveandsupport.co.jp/
電話番号	050-3121-2587
メールアドレス	info@giveandsupport.co.jp
業務提携会社	・ 自治体人事実務パートナーズ株式会社



Give and Support

会社ロゴ

お客様をGiveとSupportの両面で支えることを表現

えんじ：贈り物、Giveを表現
グレー：何色にも合う無彩色。お客様の色を引き立てる
Supportを表現

“Give（惜しみないギブ）と Support（寄り添う支援）を、誠実に”

Give

なにを

- ✓ お客様が真に必要とする情報
- ✓ 他団体（仲間）や事業者との橋渡し
- ✓ 変化をもたらす為に必要な外圧
- ✓ 改革を推し進めるための熱量



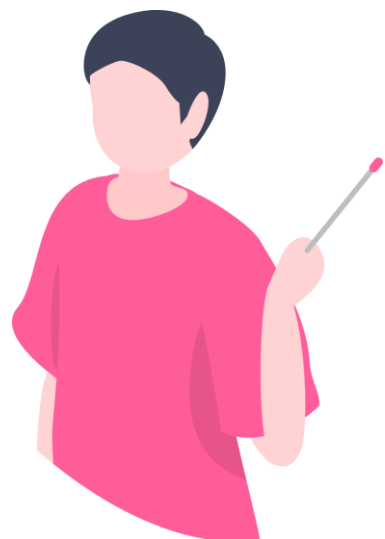
Support

どうやって

- ✓ 幅広い分野でのノウハウの活用
- ✓ かゆいところに手を届かせる
- ✓ 必要に応じてぶっ壊します
- ✓ 助言だけに留まらず一緒に現場で汗をかきます
- ✓ チャット・メールでいつでも



代表経歴



代表社員 吉田 夏樹

<趣味・活動>

- ・プログラミング（Python、VBA、AWS）
- ・読書（行動経済学、組織開発）
- ・スマホ支援ボランティア

（しまもとデジタルふれあいカフェ）

団体名：MYスマホわかり隊@島本町
（島本町社会福祉協議会）

- 1983年3月 ■ 大阪府出身
- 2005年3月 ■ 大阪府立大学（大阪公立大学）工学部経営工学科卒業
- 2005年4月 ■ **住商情報システム株式会社（現：SCSK株式会社）入社**
主に製造メーカー向けに基幹システムを導入するプロジェクト等に従事。要件定義から設計、開発、テスト、移行まで幅広く担当。
Java、C#、PLSQL、VB.NET、Oracle E-Business Suite、Oracle SOA Suiteなどを経験
- 2012年4月 ■ **島本町役場（大阪府）入庁**
 - ・ 2012年度
環境・産業課（後に環境課）に配属。ごみ、し尿、犬猫、美化、緑化、公害、地下水、有害鳥獣駆除、農政、土砂埋立て、ホタル育成、し尿処理施設解体工事業務など担当
 - ・ 2020年度
課長に昇格。コミュニティ推進課に異動。広報、広聴、自治会、情報公開、個人情報保護、ボランティア、国際交流など担当
 - ・ 2021年度
デジタル化推進チームをチームリーダーとして兼務。総務・債権管理課電算系のフォローやDX推進を担う
 - ・ 2022年度
行革デジタル推進課（新設）に異動。情報システム、自治体DX、行財政改革を所管し、全庁的なDXを推進する
※詳細は後ページにて
- 2023年4月 ■ **有限責任監査法人トーマツ（令和6年12月デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社に転籍）入所**
行政DXコンサルタントとして地方公共団体向けのDX推進支援を行う。DX推進計画策定、DX推進実行、窓口改革、情報システム見直し精査、IT調達ガイドライン更改、次期ネットワーク構成検討、システム標準化など幅広く経験
- 2025年4月 ■ **ギブアンドサポート合同会社設立**
主に地方公共団体向けにDX推進支援などを行う

代表経歴（行政職員として取り組んだ主な業務）

※島本町役場内容確認済

環境課 主事補～参事

- ・ 島本町所有者不明猫避妊・去勢手術補助金制度の創設および地域猫活動団体との連携
- ・ 一般廃棄物処理基本計画の策定
- ・ 島本町土砂埋立て等の規制に関する条例の制定
- ・ 島本町生物多様性保全・創出ガイドライン策定
- ・ ホタル育成

- ・ 島本町衛生化学処理場長としてし尿処理場の運営
- ・ 高槻市とのし尿処理の事務委託（広域連携）事務
- ・ 島本町衛生化学処理場解体工事事務
- ・ 有害鳥獣駆除（わな狩猟免許を取得し、箱罟等の設置）及び町内狩猟者との連携

コミュニティ推進課 （兼デジタル化推進チーム） 課長

- ・ 広報誌編集及び取材対応
- ・ 所管課の依頼を受けての動画作成
- ・ LINE公式アカウントの企画・運用
- ・ CMSの更新
- ・ 情報提供制度の設置
- ・ 報道提供、ネガティブ事案対応
- ・ デジタル化目安箱の設置

- ・ スマホ相談会、スマホ相談室の実施
- ・ 情報システム費用の総括管理(見積書・仕様書チェック)
- ・ LoGoチャット、LoGoフォームの全庁導入及び管理
- ・ 全庁的なフォームの作成支援
- ・ 人事課と連携した新規採用職員（デジタル人材枠）の実施
- ・ 新型コロナワクチン予約システム(LoGoフォーム)の構築・運用
- ・ 情報システム・DX推進体制強化（専門部署新設とともに担当職員1名→4名）

行革デジタル推進課 課長

- ・ 全庁的な情報システム調達・運用に関する相談・助言
- ・ 行財政改革プランの廃止と行財政改革方針の制定
- ・ 主要課題・行革方針に基づく取組の公開
- ・ 職員事務改善提案廃止（デジタル化目安箱への移行）
- ・ 島本町使用料・手数料の見直しに関する基本方針案作成
- ・ 職員業務端末のスペック向上
- ・ 職員事務効率化のためのデュアルモニターの実施
- ・ SE常駐の見直し

- ・ 情報セキュリティポリシーの見直し
- ・ デジタル化推進委員の設置・運用
- ・ 行政手続きオンライン化条例の制定
- ・ 町長、副町長、部長へのDX推進に係るマンツーマンヒアリング
- ・ しまもとデジタルふれあいカフェの実証実験
- ・ 情報システム費用の総括管理(見積書・仕様書チェック)のルール化
- ・ 情報資産（端末・プリンター・トナー）の集約・統括管理
- ・ システムベンダとの見積交渉

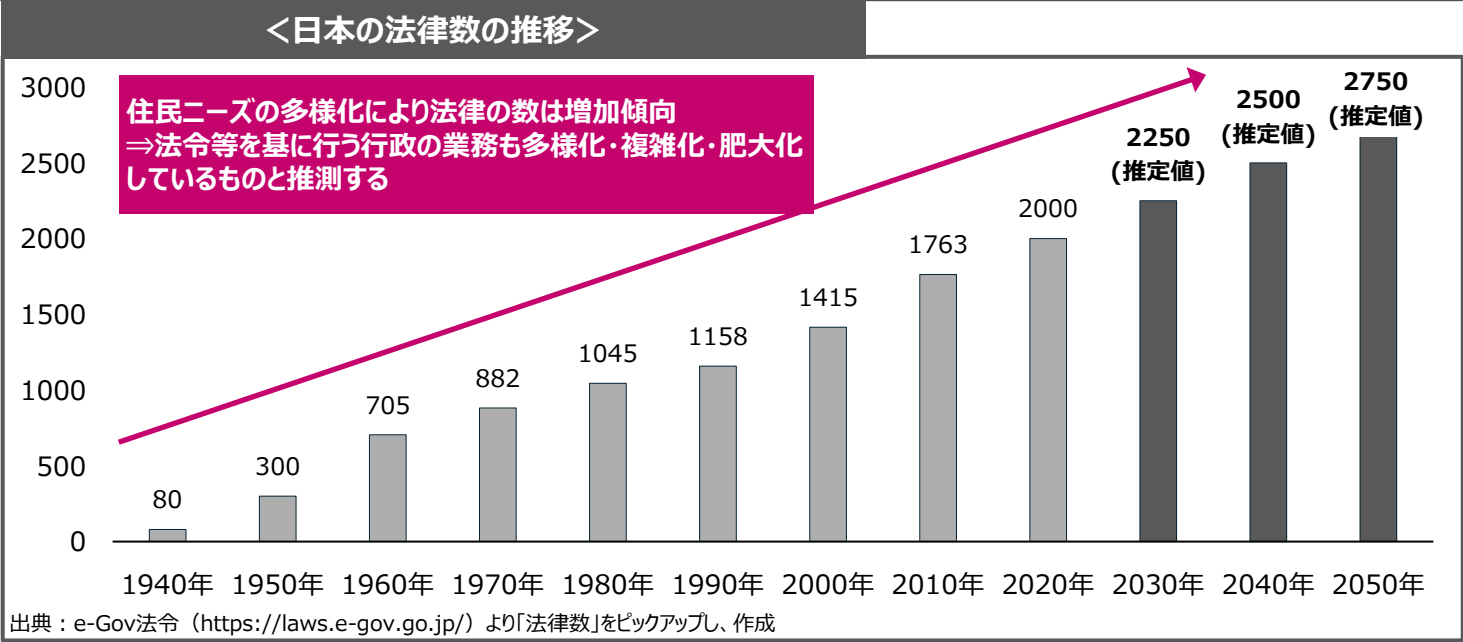
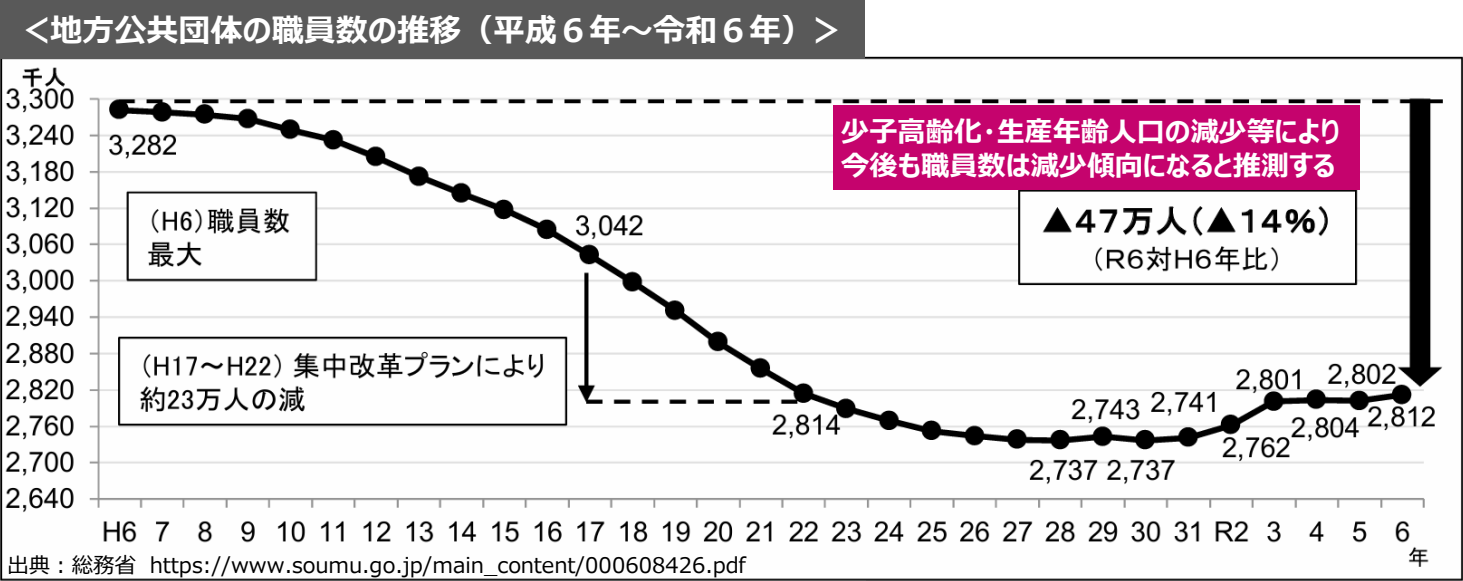
代表経歴（行政DXコンサルタントとして取り組んだ業務）

A市	・ 国保後期業務のシステム標準化支援、窓口アウトソーシング検討支援
B市	・ 児童手当・児童扶養手当業務のシステム標準化支援
C市	・ 行政DX推進計画、職員デジタル人材育成方針策定支援 ・ 窓口改革作業部会支援
D市	・ 情報システム見積精査支援、職員向け情報システム見積精査研修の実施 ・ DX推進方針策定支援
E市	・ DX推進実行支援 ・ DX推進員ワークショップ講師
F市	・ DXマインド醸成ワークショップ講師
G町	・ DXマインド醸成ワークショップ講師（町長、副町長を含めた全職員）
H市	・ ナッジワークショップ研修講師
I市	・ 情報システムアドバイザ業務
J市	・ 次期ネットワーク構成検討支援 ・ システム標準化全体PMO支援
K市	・ ICT戦略改定支援 ・ IT調達ガイドライン改定支援
L市	・ IT調達ガイドライン改定支援
M市	・ 情報システム見積精査支援、職員向け情報システム見積精査研修の実施
N市	・ 窓口改革実行支援 ・ 情報システム見積精査支援
O町	・ DX推進実行支援

政令指定都市から町役場まで、ジャンルも幅広く支援をした実績があります。
何かご一緒できることがあればお問い合わせください。



厳しい状況に追い込まれている地方公共団体への想い



多くの地方公共団体は
待ったなしの状況

弊社社員の培った知識と経験で
少しでもこの状況を良くしたい



情報システム・DX推進担当職員のあるある問題の解決に向け、寄り添い支援します

DX推進の道筋を定めたいが専門的な知識がない

他団体と交流を深めたいがきっかけがない

行政経験が豊富な外部人材がいない

一人ぼっちで誰も助けてくれない

ベンダの言いなりになってしまっている

システム調達時に見積書の精査ができていない

組織全体が後ろ向きで新しいことにチャレンジしない

組織全体でDX推進の機運が高まらない

情報システム・DX推進担当職員が足りない

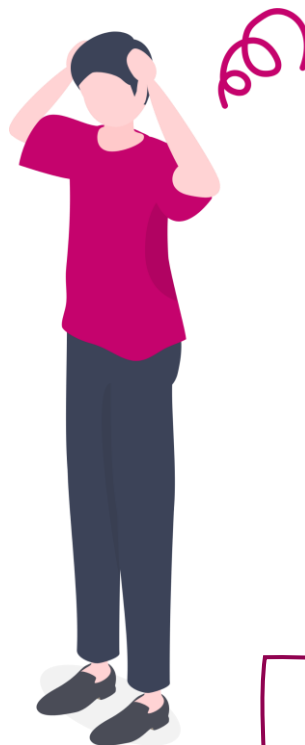
職員のデジタルリテラシーが高まらない

この進め方で良いのか不安

デジタル関連の仕事をすべて押し付けられる

国や他団体の動向、技術等情報が溢れており
取捨選択ができていない

デジタル人材を採用したいが
人事課との協議がうまくいかない



対応可能な支援内容と弊社の強み

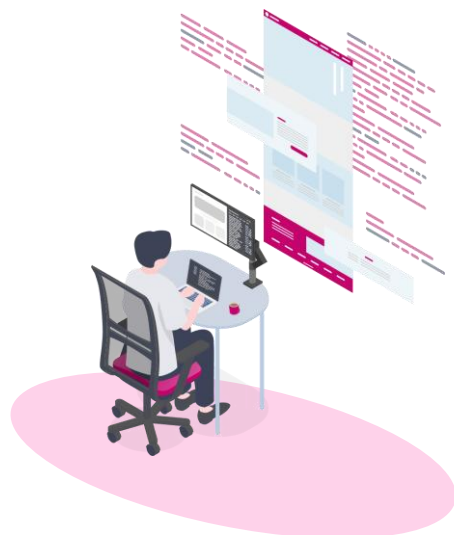
対面での助言



様々な分野・事業で支援します

- DX推進計画策定
 - DX施策実行
 - DX推進体制強化
 - DXマインド醸成
 - 窓口改革
 - データ利活用
 - ナッジ
 - 情報システム見積精査
 - 情報システム導入
 - IT調達ガイドライン
 - システム標準化
 - 一人情シス脱却
 - 情報セキュリティポリシー
 - 三層分離見直し (α' 、 β' 、ゼロトラスト)
 - システム導入PMO
 - デジタルデバйд対策
 - デジタル人材育成
 - ノーコード、ローコード
 - 行政手続きオンライン化
 - BPR（業務廃止、見直し）
 - 行財政改革プラン見直し
 - 補助金・手数料見直し
 - 組織コミュニケーション活性化
 - **弊社社員個人の経験業務領域**
- ※ニーズにお応えして柔軟に対応します

チャットでのフォロー



オンラインでの助言



強み

- ① 行政経験、他自治体支援の実績が豊富です（町役場から政令指定都市まで）
- ② 特に人口10万人未満の小中規模自治体への支援を得意としています
- ③ 一人情シス脱却を経験しています。実践した事例を横展開します
- ④ 幅広い分野をカバーしているのでオールインワンで支援可能です
- ⑤ 情報システム・DX推進担当部署だけでなく、事業課等原課の気持ちに寄り添えます
- ⑥ 議会・住民対応や庁内連携など政治的な部分への配慮が可能です
- ⑦ 信頼関係を築かせていただいている地方公共団体様間の橋渡しが可能です
- ⑧ お客様の指示を待ちません。こちらから積極的に攻め、手を動かします

※本価格は令和7年4月時点のものであり、今後改定される場合があります
宿泊を伴う遠方での支援は、別途割り増しさせていただく可能性があります

● 現地 or オンラインでの助言等 50,000円（税抜）／時間

年間での業務委託契約を締結いただけた場合は、チャット・メールでいつでもサポートし、さらに支援のための事前準備、依頼を受けての簡易な調査、国・他自治体の状況の情報提供など、直接的な支援以外の付帯する支援はこの時間に含まれず、すべて無料で実施します。

【業務委託例】

A市：1回3時間の訪問支援×月2回×12か月＋上記サポート全て 3,600,000円（税抜）

B市：1回6時間の訪問支援×月2回×12か月＋上記サポート全て 6,480,000円（税抜）

C市：1回2時間の訪問orオンライン支援×12回＋上記サポート全て 1,200,000円（税抜）

● 研修講師 100,000円（税抜）／回 ＋ 旅費

1回2時間程度を想定しています。研修内容の事前相談、資料のカスタマイズ修正などは無料で実施します。

【研修メニュー例】

DXマインド醸成研修、情報システム見積精査研修、LoGoフォーム活用研修、ナッジ研修、組織課題みんなで考えよう対話会など

● 無料相談 0円（税抜）／回

お気軽にメール(info@giveandsupport.co.jp)でご相談ください。Web会議を設定し、お話をお伺いすることも可能です。相談内容に応じて対応可能な別のコンサルティング会社や事業者をご紹介します。

01 幅広い情報システム・DX推進に関する定期的な助言等

軽微なものはチャット・メールで
無制限に無料で対応します

【支援内容例】

月2回（1回3時間）現地訪問（or オンライン）での定期的な助言等・・・3,600,000円（税抜）

この金額に含まれる支援の具体例：

「情報システム運用・DX推進状況確認のための定例会に出席・助言してほしい」⇒ 月2回の支援内で対応します。

「原課の課長向けにDXに関する個別ヒアリングを実施してほしい」⇒ 月2回の支援内で対応します。

「他自治体って〇〇についてどうしているか知ってます？」⇒ 調査しチャットor対面で報告します。

「（チャットで）総務省の資料で～～～という記載があるのですが詳細ご存じですか？」⇒ チャットで回答します。

「A課が行政手続きのオンライン化について〇〇と考えているが意見をいただきたい」⇒ チャットで回答します。

「原課よろず相談をしてほしい」⇒ 対面であれば月2回の支援内で実施します。チャットであればいつでも回答します。

「DX研修をやってほしい」⇒ 研修内容を協議させていただき、月2回の支援内で研修を実施します。

「情報システム関連費用が上がってきているので見積精査してほしい」⇒ 月2回の支援内で見積精査します。

「DX推進計画案を作ったのでレビューしてほしい」⇒ 月2回の支援内でレビューします。※軽微なものであればチャットで回答します。

「基幹システムベンダとの打ち合わせ・見積交渉に同席してほしい」⇒ 月2回の支援内で同席します。

「A市に視察に行くときに一緒についてきてほしい」⇒ 月2回の支援内で同行します。※遠方の場合は旅費を相談させてください

「市長・副市長のレクに同席してほしい」⇒ 月2回の支援内で同席します。

「人事課とのデジタル人材確保・育成、DX推進体制強化について協議するので同席してほしい」⇒ 月2回の支援内で同席します。

02 幅広い情報システム・DX推進に関するスポットでの助言

軽微なものはチャット・メールで
無制限に無料で対応します

【支援内容例】

年間12回（1回2時間）現地訪問（or オンライン）でのスポットでの助言・・・1,200,000円（税抜）

この金額に含まれる支援の具体例：

「情報システム運用・DX推進状況確認のための定例会に出席・助言してほしい」⇒ 1回分消費し対応します。

「原課の課長向けにDXに関する個別ヒアリングを実施してほしい」⇒ 1回分消費し対応します。

「他自治体って〇〇についてどうしているか知ってます？」⇒ 調査しチャットor対面で報告します。

「（チャットで）総務省の資料で～～～という記載があるのですが詳細ご存じですか？」⇒ チャットで回答します。

「A課が行政手続きのオンライン化について〇〇と考えているが意見をいただきたい」⇒ チャットで回答します。

「原課よろず相談をしてほしい」⇒ 対面であれば1回分消費し実施します。チャットであればいつでも回答します。

「DX研修をやってほしい」⇒ 研修内容を協議させていただき、1回分消費し研修を実施します。

「情報システム関連費用が上がってきているので見積精査してほしい」⇒ 1回分消費し見積精査します。

「DX推進計画案を作ったのでレビューしてほしい」⇒ 1回分消費しレビューします。※軽微なものであればチャットで回答します。

「基幹システムベンダとの打ち合わせ・見積交渉に同席してほしい」⇒ 1回分消費し同席します。

「A市に視察に行くときに一緒についてきてほしい」⇒ 1回分消費し同行します。※遠方の場合は旅費を相談させてください

「市長・副市長のレクに同席してほしい」⇒ 1回分消費し同席します。

「人事課とのデジタル人材確保・育成、DX推進体制強化について協議するので同席してほしい」⇒ 1回分消費し同席します。

03 DXマインド醸成研修の実施～組織課題を自分事ととらえ、DXに向き合うためのマインドを醸成する～

【支援内容例】

現地での研修2時間、参加者30名・・・100,000円（税抜）＋旅費

<講義>

DXとは、なぜ今DXなのか、DXを阻むものとは

<職員同士の意見交換>

わが市の組織課題はなにか、なぜその課題が発生しているのか、その課題を解決するために自分は何ができるか

※講師1名での対応となり、意見交換時は職員様複数名にファシリテーターをお願いしております

様々な研修に対応しますので
お気軽にご相談ください

04 情報システム見積精査研修の実施～情報システム課だけでなく、現課職員もシステム見積精査の意識をもていただき、テクニックを学んでいただく～

【支援内容例】

現地での研修1時間半、参加者30名・・・100,000円（税抜）＋旅費

<講義>

わが市の情報システム費用の推移、情報システム費用の今後の増加、ベンダとのコミュニケーションの心得、見積書チェックのコツ

<ちょっとした演習>

サンプル見積書を使い、何がダメか指摘する練習を行う

Q&A

Q. 計画策定やセキュリティポリシー改定のための資料作成などもできるのか？

A. 準委任での契約を想定しているため、成果物完成の責任を負うことはできませんが、案ベースでの作成支援など資料作成は可能です。

Q. 北海道や沖縄といった遠方でも対応可能か？

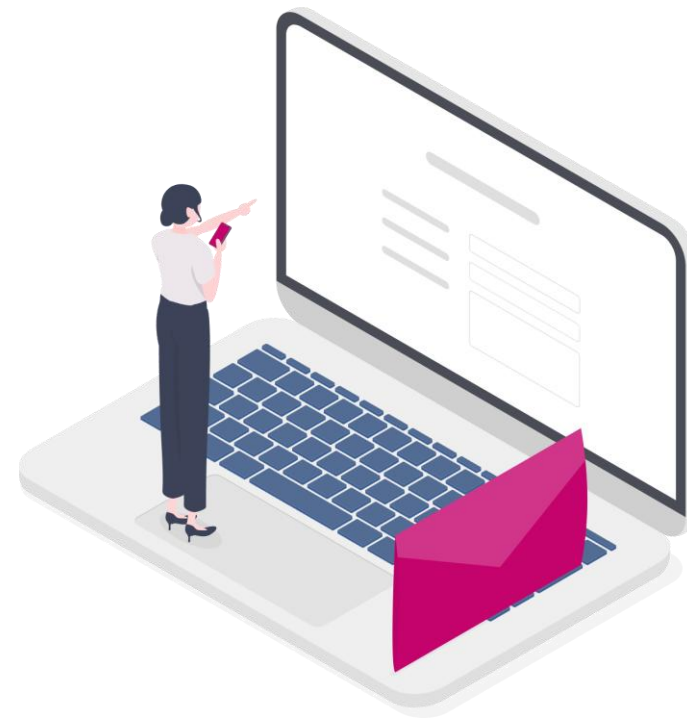
A. 旅費分を勘案した費用をいただくことで対応可能です。
オンライン会議＋チャットのみでの対応も可能です。

Q. 何名で対応していただけるのか？

A. 令和7年4月1日時点では社員は1名となります。
できる限りの範囲での支援となりますことご了承ください。

Q. 業務委託ではなく、特別職非常勤職員として来ていただくことは可能か？

A. 可能ですが、稼働時間の兼ね合いもありご相談させてください。



その他ご不明点がありましたらお気軽にお問合せください
お問い合わせ先：info@giveandsupport.co.jp

